



夢のかけ橋

高知県教育だより ~ 第 37 号 ~



平成 26 年



2014.11

子どもたちにより良い教育環境を提供するために ~ 県立高等学校再編振興計画 ~

県教育委員会では、「生徒数の大幅な減少」「社会環境のグローバル化」「南海トラフ地震の危険性の増大」など、県立高等学校を取り巻く社会状況の変化を正面から受け止め、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、教育関係者や保護者、県民の皆さまから頂いた貴重なご意見を参考に、今後 10 年間の「県立高等学校再編振興計画」を策定しました。

■ 計画の基本的な考え方 (主なもの)

▶ 適正な学校規模の維持と適切な配置

生徒数が減少しても、高等学校としての教育の質を維持・向上するため、地域の実態や県全体のバランスなどを考慮しながら、適正な学校規模の維持と適切な配置に努めます。

高等学校の適正 (最低) 規模

- ① 原則「1 学年 4~8 学級」
- ② 一定の生徒数が見込まれる高知市及びその周辺地域では、「1 学年 6 学級以上」
- ③ 「過疎化が著しく、近隣に他の高等学校がない学校 (中山間地域の学校)」、「分校」は「1 学年 1 学級 (20 人) 以上」として、できるだけ維持



▶ 生徒や保護者の期待に応える教育活動の推進

一人ひとりの個性や創造性を伸ばす効果的な学習指導や、社会のグローバル化に対応できる人材の育成などに取り組みます。

▶ 南海トラフ地震への対策の推進

すべての県立高等学校で南海トラフ地震から生徒の命を守るための対策を進めるとともに、津波による大きな被害が想定される学校については、安全な場所への移転などの対応を検討します。

■ 前期実施計画 (平成 26~30 年度) で実施する県立高等学校の統合

▶ 「高知南中学校・高等学校」と「高知西高等学校」(平成 35 年度に統合完了)

「生徒数の減少への対応」「グローバル人材の育成」「震災に強い教育環境の整備」を進めるため、現高知西高校の敷地に**新たな中高一貫教育校**を設置して、大学進学の特拠点校・**県内トップのグローバル教育校**を目指します。

▶ 「須崎工業高等学校」と「須崎高等学校」(平成 31 年度に統合完了)

須崎工業高校、須崎高校とともに生徒数が減少し、1 学年 3 学級の規模となっていることに加え、須崎高校は南海トラフ地震による津波浸水の高リスクなことから、両校を統合。現須崎工業高校の敷地に**高吾地域の拠点校**を設置して、さらなる発展を目指します。

県教育委員会では、この計画を基に、生徒や保護者、地域の皆さまの期待に応える活気と魅力あふれる学校づくりに取り組んでいきます。皆さまも、県立高等学校の再編振興にご理解とご協力をよろしくお願い致します。

「平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果を受けて

「平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果が10月16日に公表されました。本県の状況は以下のとおりとなっています。

「調査結果の概要」

(1) 各調査項目別の状況（国公立）

項目	対象		平成23年度	平成24年度	平成25年度
1,000人当たりの暴力行為の発生件数	小・中・高等学校	高知	8.6件	7.5件	7.3件
		全国	4.0件	4.1件	4.3件
1,000人当たりのいじめ認知件数	小・中・高等学校・特別支援学校	高知	3.7件	8.7件	6.9件
		全国	5.0件	14.3件	13.4件
1,000人当たりの不登校児童生徒数	小・中学校	高知	13.7人	13.2人	14.2人
		全国	11.2人	10.9人	11.7人
1,000人当たりの不登校生徒数	高等学校	高知	20.8人	19.5人	20.0人
		全国	16.8人	17.2人	16.7人
生徒数に占める中途退学者数の割合（中途退学率）	高等学校	高知	2.2%	2.2%	2.4%（※）
		全国	1.6%	1.5%	1.7%（※）

※中途退学については、平成25年度から通信制を調査対象として追加

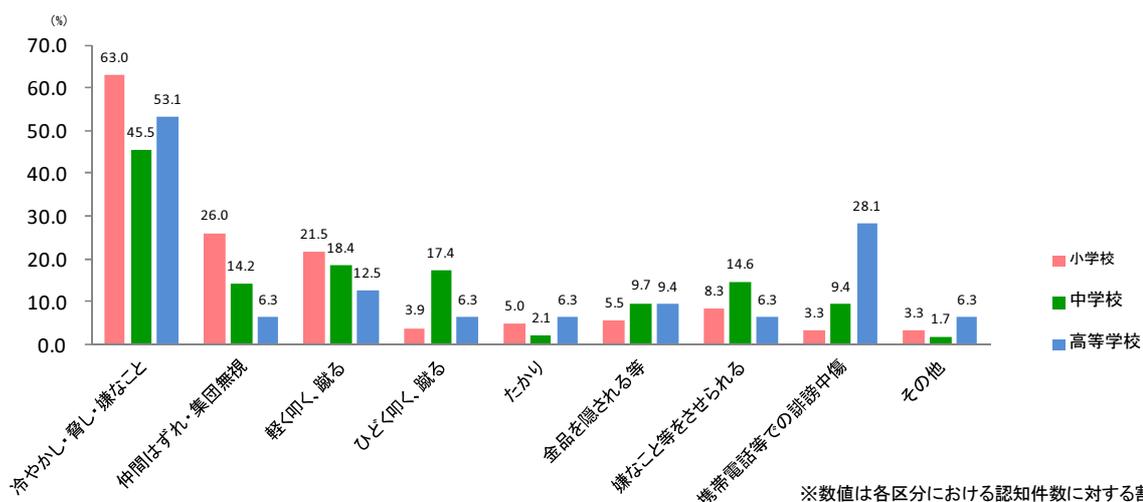
(2) 公立学校の状況

■暴力行為の発生件数（校種別及び形態別）

校種	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合計
小学校	18	52	2	20	92
中学校	61	199	9	115	384
高等学校	3	26	1	19	49
合計	82	277	12	154	525

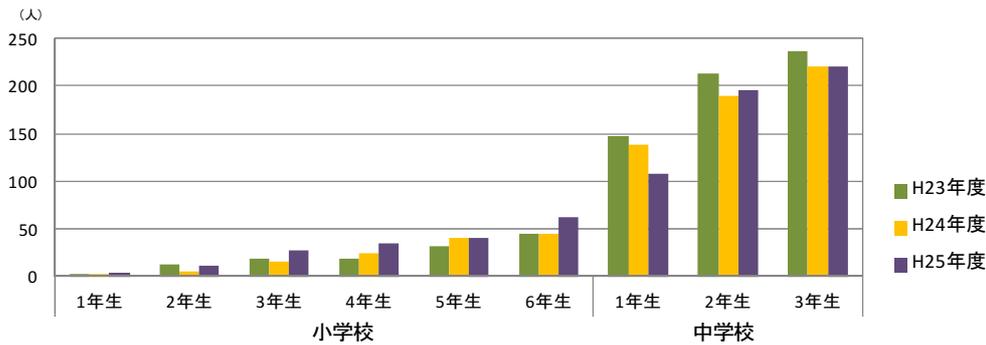
- ・暴力行為の73%が中学校で発生しています。
- ・小学校において平成24年度に暴力行為が急増し、平成25年度でもほぼ同数の発生件数であり、暴力行為の低年齢化が危惧される状況にあります。

■いじめの態様



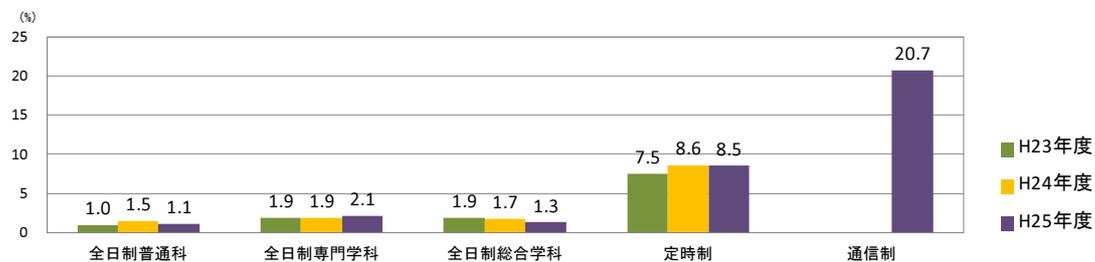
- ・「冷やかしの脅し・嫌なこと」の割合が高いことから、早い段階でのいじめの発見が一定できていると思われます。
- ・「携帯電話等での誹謗中傷」については、潜在的に行われるため、いまだ発見されていないものがあると思われます。
- ・いじめの日常的な実態把握のために、小・中・高等学校では、全ての学校で「アンケート調査」を実施しています。その他、「個人面談」（71.8%）、「教職員と児童生徒の間で日常的に行われている日記等」（59.8%）、「家庭訪問」（53.1%）が多くなっています。

■小・中学校における不登校児童生徒数（学年別）



- ・学年が上がるにつれて不登校の児童生徒が増加する傾向にあり、ほぼ毎年、小・中学校の全不登校児童生徒の約80%を中学校が占めています。
- ・不登校となったきっかけと考えられる状況は、小・中学校ともに「不安などの情緒的混乱」（小：45.8%、中：33.1%）が最も多く、次いで小学校では「親子関係をめぐる問題」（24.0%）、中学校では「無気力」（28.7%）が多くなっています。

■高等学校における中途退学率（課程・学科別）



- ・平成25年度の調査から、通信制が調査対象に加まりました。
- ・全日制及び定時制をあわせた中途退学者数については、前年度よりも40人減少（中途退学率2.2%から2.0%）しており、一定の改善が見られます。
- ・中途退学の理由としては、「もともと高校生活に熱意がない」（9.7%）、「学業の不振」（9.3%）、「就職を希望」（7.6%）、「別の高校への入学を希望」（7.4%）などが多くなっています（「その他の理由」を除く）。

教職員の皆さまへ

各学校の教職員の皆様には、児童生徒との関係づくりや生徒指導等に精力的に取り組んでいただいておりますが、次のことについて再度確認していただき、取組の充実をお願いします。

学校組織の取組として

- ・学校経営に生徒指導の視点を位置付けた組織的な取組をPDCAサイクルにより展開する。
- ・児童生徒の自尊感情や社会性を育むため、ほめるべきことはほめる、叱るべきことは毅然と叱るといったメリハリをつけた指導・支援を全教職員で確認し、実践する。
- ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた組織的な取組を推進し、全教職員でいじめを許さない学校づくりに努める。
- ・支援が必要な児童生徒について、校内支援委員会で情報共有するとともに、スクールカウンセラー等と連携したより効果的な支援に努める。

教員個々の取組として

- ・生徒指導の3機能（自己存在感を与える、共感的な人間関係の育成、自己決定の場を与える）の視点での授業づくりを推進する。
- ・「Q-U アンケート」等の活用分析による個々の児童生徒理解と学級集団の状況把握に努め、課題のある児童生徒等への効果的かつ組織的、計画的な指導・支援に取り組む。
- ・「いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こりうるもの」また、「いじめは教員の目の届かないところで行われるもの」として、いじめの積極的な認知に努めるとともに、認知力、対応力の向上を意識した自己研鑽に努める。

よりよい親子関係の構築を目指して ～「親育ち支援」の充実

高知県には学力の問題をはじめ、不登校・暴力行為等の教育課題が山積しています。また、近年、自分が好きになれない、自信がもてないといった自尊感情が低い子どもの姿が多く見受けられます。

そうした姿の原因の一つには、乳幼児期からの成育事情や身近な大人のかかわり方があると考えられます。

子育ての早い段階からよりよい親子関係をしっかりと築いていくことにより、人を信じる心や自尊感情が育まれ、結果として本県の教育課題の根本的な解決につながると考えています。

そこで、高知県教育委員会では、平成21年度から親育ち支援の様々な取組を展開しています。

例えば、保育所・幼稚園等に出向き、保護者向けの子育てに関する講話やワークショップ、また保護者を支える立場である保育者の研修(講話・ワークショップ・事例研修)を行っています。

特に、保護者研修については、これまでに284回実施して7,758人の参加があり(H26.9.30現在)、ほとんどの方が「親のかかわりが大切だと思う」「またこのような会に参加したい」と回答しており、大変好評を得ています。また、研修へ2回以上参加された方のほとんどが「前回の講話を聞いて以降、子育てに変化があった」と回答し、具体的には「子どものかかわりをできるだけでもつよくなった」「叱るよりほめる(認める)ことを意識するようになった」「子どもの話をよく聴くようになった」など、保護者の子育てに対する意識や行動に変化が表れてきています。

今後も、さらに就学前の親育ち支援の取組を継続することにより、子育てについての保護者の意識改革を図っていききたいと考えています。



保護者研修(講話)の様子

幼保支援課 親育ち支援担当 088-821-4889

行事予定 (12月、1月の主なもの)

12月

- | | |
|---|--|
| 4日 第2回高校生育成員制高吾地区連絡協議会
(土佐市 高岡高校 14:00～) | 18日 学校新聞づくりコンクール大会
(高知市 高知県教育センター 10:00～) |
| 6日 いじめ防止子どもサミット
(高知市 高知県立県民体育館 10:00～) | 19日 高知県子ども読書活動推進ネットワークフォーラム
地域フォーラム(東部地区②)
(安田町 安田町文化センター 13:00～) |
| 7日 第18回じんけんふれあいフェスタ
(高知市 高知市中央公園 9:30～) | 19日 第2回高知県いじめ問題対策連絡協議会
(高知市 ザ・クラウンパレス新阪急高知 14:00～) |
| 13日 土佐の子育て交流会
(高知市 高知会館 13:30～) | 20日 定例教育委員会
(高知市 高知県庁西庁舎教育委員室 13:30～) |
| 22日 定例教育委員会
(高知市 県庁西庁舎教育委員室 13:30～) | 26日 高知県子ども読書活動推進ネットワークフォーラム
地域フォーラム(西部地区②)
(四万十市 四万十市中央公民館 13:00～) |
| | 30日 第2回高P連香長地区高校生育成員制連絡協議会
(香南市 城山高校 13:30～) |

<注>現時点での予定です。日程の都合により変更される場合があります。

編集後記

「夢のかけ橋」第37号をお届けします。

早いもので今年も残り1ヶ月となりました。年末に向けて何かと慌ただしい日々が続きますが、お体には十分に気をつけてお過ごしください。

本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

教育委員会ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

<発行者>

高知県教育委員会事務局
教育政策課



(TEL)088-821-4731

(FAX)088-821-4558

(E-mail)310101@ken.pref.kochi.lg.jp